



広島市中区医師会会報

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号大手町平和ビル2階 TEL (082) 504-6681 FAX (082) 504-6685
ホームページ <http://nakaku.city.hiroshima.med.or.jp> 編集責任者 広島市中区医師会会長 田邊 徹行

■ 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。先生方におかれましては平素より中区医師会の運営・事業にご協力いただき誠にありがとうございます。

おめでたい新年の幕開けですが、新型コロナウイルスは依然として猛威を振るっており、我々は今や第八波のど真ん中におります。ウイルスは変異によって弱毒化してはいますが、感染者数は増加を続け高齢者にとっては致命的な疾患であることに変わりはありません。医師会活動におきましても広島県医師会の新年互礼会や広島市医師会の New Year Party は中止となり、休日の発熱外来ははてんでご舞いとなっております、これまで以上に感染対策が重要となっています。また昨年はコロナ禍だけではなく、ロシアによるウクライナ侵攻、世界的半導体不足、地球規模での異常気象など多くの災いがありました。地球上の遠いところで起こったことまでもが、物価高騰など国民生活を直撃しています。医療業界におきましてもネラ

トンカテーテルなどの医療器具や漢方薬をはじめとする医療用医薬品の出荷調整など日々の診療にも悪影響が出ています。このような状況でも私たちの目の前には治療を必要としている多くの患者さんがおられます。私たち中区医師会は微力ではありますが、皆さんのお役に立てるように在宅医療介護連携、学術講演会、市民公開講座などの業務を遂行してまいります。

今年うさぎ年です。うさぎの様な跳躍の年にしたいものですが、何が起きるか全く予想できないこの世の中では、うさぎではなく亀のように一歩ずつ確実に歩いていくべきと感じております。堅実な中区医師会の運営を目指し、これからも中区医師会会員の先生方と共に歩んで行きたいと思っておりますので、引き続きのご支援ご協力の程よろしくお願い致します。



一般社団法人広島市中区医師会

会長 田邊 徹行

令和5年1月

■ 地域包括支援センターによる市民公開講座 報告

日時：12月3日(土)15:00~16:00

場所：大手町平和ビル5階 大会議室

演題：『元気なうちに考えておくべきこと

～ACP、成年後見制度、家族信託など～』

講師：弁護士 菊永 将浩 先生

参加者：24名

今若い人もみんな老いていき、一人で解決できないことが増えて

いきます。自分が「こうしてほしい」「こうしてほしくない」という思いは伝えなければ伝わりません。その前提で「自ら決める」ことも大切です。将来の財産管理に不安がある場合は、後見制度や遺言・家族信託の利用を検討してみることでトラブルを予防できるので、元気なうちに、しっかりと考えて取り組むことはとても大切であると考えます。



〈裏面もご覧ください〉

■中区医師会からのお知らせ

第93回広島市中区医師会学術講演会

日 時：2月9日(木) 19:00～ 締め切り：2月2日(木)
開催形式：ハイブリッド形式 (Web配信(Teams)&現地会場)
会場：TKP ガーデンシティ広島 2F「アクアマリン」
演題：「高血圧治療の新たな治療戦略」
座長：上田循環器八丁堀クリニック 院長 上田 健太郎 先生
演者：広島大学病院 原爆放射線科学研究所 准教授 丸橋 達也 先生
申込：広島市中区医師会事務局 FAX 082-504-6685
お問合せ：ノバルティスファーマ株式会社 土池 TEL 090-2140-0593

Mail : taro.tsuchiike@novartis.com